

# 学校名 南大隅町立第一佐多中学校

項 目	活動内容等
1 活動内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小規模校ながらも、生徒会役員が中心となって、ボランティア活動に積極定に取り組み、地域と連携を図りながら充実した活動が展開されている。</li> <li>・ 当該活動以外にも総合的な学習の時間や地域清掃活動において、生徒主体の活動が展開されている。</li> </ul>
2 活動状況等 (1) リサイクル活動の 動機・頻度 ① リサイクル活動を 始めた動機及び 開始年月	○ 平成24年5月からJRC活動の一環として、身近なことからできるボランティア活動を進めるために、生徒会役員を中心にペットボトルキャップの回収を始め、各家庭への呼びかけ、町内の役場・事業所への回収ボックスの設置を行っている。
② 活動の愛称名があれば記入して下さい	○ 第一佐多中エコキャップ活動
③ 月間又は年間活動回数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎月第1週目のボランティア週間に各学級で代議員がペットボトルキャップ回収を呼びかけている。</li> <li>○ 町内の役場、事業所等にペットボトルキャップ回収ボックスの設置を依頼し、月に1回程度、回収を行っている。</li> <li>○ 生徒会役員が毎月1回(第4金曜日)、回収したペットボトルキャップの重量を計量し、学期末に町の社会福祉協議会へ持参している。</li> </ul>

項 目	活動内容等			
④ 活動のエリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各家庭, 各学級</li> <li>○ 南大隅町内の役場及び事業所</li> </ul>			
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各家庭での回収・・・・・・・・・・31人(全校生徒)</li> <li>○ 学校での回収及び集計・・・・ 5人(生徒会役員)</li> </ul>			
⑥ 活動1回当たりの平均時間	○ 学校での回収及び集計・・・・・・・・10~15分			
⑦ 取り扱った回収実績数量				
	品 目	2019年度	2020年度	2021年度
	ペットボトルキャップ	62.3kg	48.8kg	50.1kg
⑧ 回収した缶等の処分方法	○ 生徒会役員が毎学期1回, 回収したペットボトルキャップの重量を計量したものを町の社会福祉協議会に持参している。			
(2) 活動の独創性 活動の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第一佐多中エコキャップ運動は, S D G s 教育と関連付けたリサイクルの促進, C O 2 の削減, 発展途上国の医療支援につながる身近なことからできるボランティア活動である。令和2年度から, 生徒用玄関に毎月の各学級の回収量をグラフ化(見える化)し, 生徒のリサイクル活動への意識の高揚を図っている。</li> <li>また, 各家庭からの回収だけでなく, 地域の役場や事業所に協力をお願いしている。</li> </ul>			

項 目	活動内容等
(3) 地域への貢献度 ① 地域の環境美化への貢献  ② 地域住民との協力活動  ③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	<p>○ 各家庭での回収の呼びかけや回収ボックスを各事業所に設けることにより、ペットボトルキャップ回収はもとより、その他のリサイクルへの意識が高まってきている。</p> <p>○ 役場や事業所へのペットボトルキャップ回収ボックス設置及び回収を行う。</p> <p>○ これまでの活動の成果もあり、役場等の回収ボックスへの持ち込みだけではなく、卒業生や地域の方々も学校へ持ってきていただいております、地域ぐるみの活動になってきている。</p>
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき  ② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化  ③ 当該活動以外の環境教育実践活動	<p>○ 本校の環境教育目標として、「環境や環境問題に関心・意欲をもち、人間活動と環境との関わりについての総合的な理解と認識の上に立って、環境の保全に配慮した望ましい働きかけのできる技能や思考力、判断力を身に付け、よりよい環境の創造活動に主体的に参加し、環境への責任ある行動がとれる態度を育成する。」を設定し、全教育活動での環境教育を推進している。</p> <p>○ リサイクル活動への意識の高揚だけではなく、普段の清掃活動への時間いっぱい無言作業に取り組む姿勢が見られるようになっている。</p> <p>○ 1年生の総合的な学習の時間において、SDGs教育と関連付けて環境学習の時間を11時間設定している。環境ふれあい館等を訪問し、身近な環境問題について実生活と関連付けながら環境問題についての理解を深めている。</p> <p>○ 毎月第3土曜日の朝、地域の清掃活動である「南端まちづくり活動」に参加している。</p>

項 目	活動内容等
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか	なし
(6) 校内外活動のための時間の作り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ エコキャップ活動 (呼びかけ・校内回収) 金曜日の朝の生徒会活動の時間 (役場・事業所への回収) 月に1回, 職員が回収 (重量の計量) 昼休みの生徒会定例会終了後</li> <li>○ 清掃センター等への訪問 総合的な学習の時間 11 時間</li> </ul>
3 その他特記事項	なし

# 1 活動状況等について

## (1) リサイクル活動の動機・頻度

本校では、平成24年5月からJRC活動の一環として、身近なことからできるボランティア活動を進めるために、生徒会役員を中心にペットボトルキャップの回収を始め、各家庭への呼びかけ、町内の役場・事業所への回収ボックスの設置を行っている。



【各学級の回収の様子】



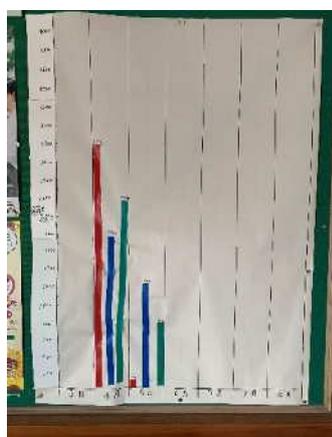
【事業所の回収ボックス】



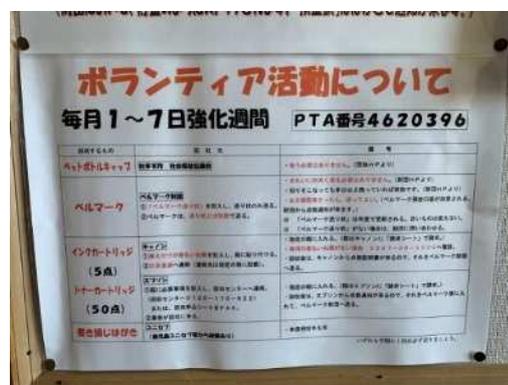
【生徒会役員による活動の様子①】



【生徒会役員による活動の様子②】



【生徒会掲示板の回収状況】



【ボランティア強調週間ポスター】

(2) 活動の独創性、活動の特徴

第一佐多中エコキャップ運動は、リサイクルの促進、CO<sub>2</sub>の削減、発展途上国の医療支援につながる身近なことからできるボランティア活動のである。また、各家庭からの回収だけでなく、地域の役場や事業所に協力をお願いしている。

(3) 地域への貢献度

各家庭への回収の呼びかけや回収ボックスを事業所に設けることにより、リサイクル活動への意識が高まっている。また、これまでの成果もあり、卒業生や地域の方々も学校へ持ってきていただいております、地域ぐるみの活動になってきている。

(4) 環境教育との関連

ア 環境教育と活動との結びつき

環境教育全体目標の中に「より良い環境の創造活動に主体的に参加し、環境への責任がとれる態度を育成する。」とあり、ペットボトルキャップ回収という身近な活動を通して、環境について考える取組としている。また、今年度から総合的な学習の時間にSDGs教育の観点からも授業を行い、生徒一人一人の意識を高める工夫をしている。

イ 当該活動以外の環境教育実践活動

(ア) 総合的な学習の時間

1年生の総合的な学習の時間において、SDGs教育と関連付けて環境学習の時間を11時間設定している。環境ふれあい館等を訪問し、身近な環境問題について実生活と関連付けながら環境問題についての理解を深めている。また、この体験活動を通して学んだことを11月に開催する文化祭のテーマにして創作劇を発表している。



【環境ふれあい館での活動の様子】



【環境ふれあい館での活動の様子】



【清掃センターでの活動の様子】



【SDGs 教育の観点からの授業】

(4) 「南端まちづくり活動」への参加

毎月第3土曜日の朝、地域の清掃活動に近隣の生徒を中心に参加している。



【清掃作業の様子①】



【清掃作業の様子②】



【清掃作業の様子③】